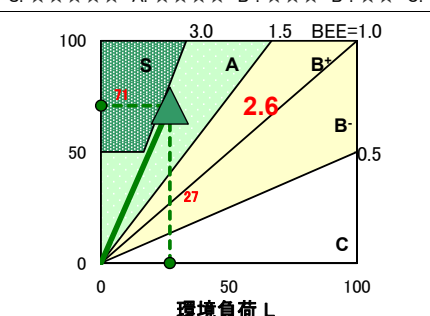
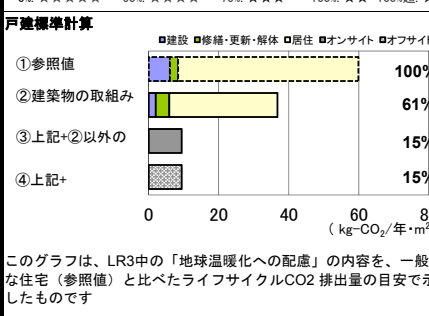
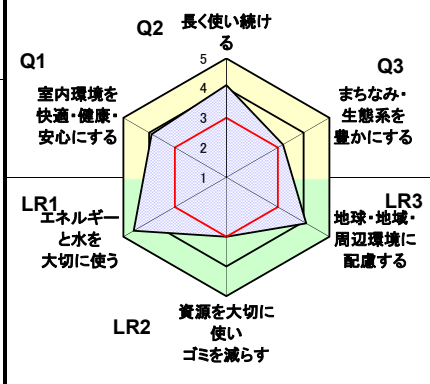
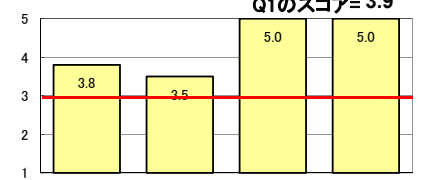
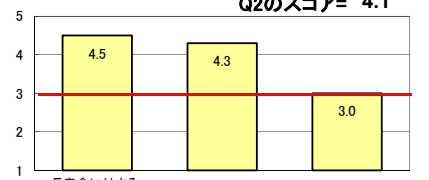
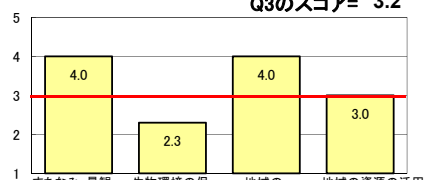
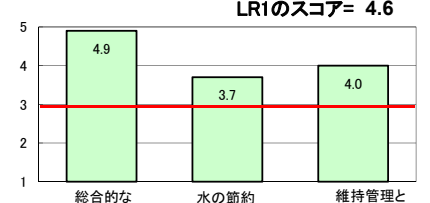
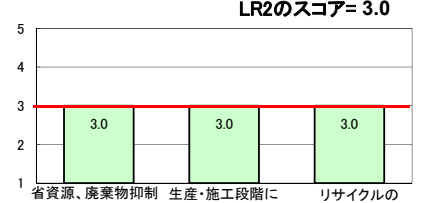
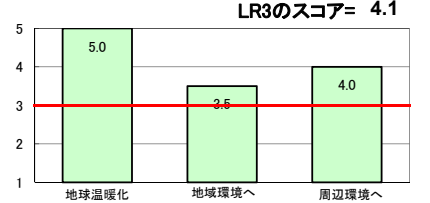


1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2018年2月	竣工		持ち込み家電等	一部確定
建設地	横浜市港北区大倉山4丁目			外構の仕様	一部確定
用途地域	第2種低層住居専用地域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造・枠組壁工法	確定	評価の実施日	2017年8月20日	
階数	2		作成者	梅原 義信	
敷地面積	160 m <sup>2</sup>	確定	確認日	2017年8月30日	
建築面積	75 m <sup>2</sup>	確定	確認者	梅原 義信	
延床面積	136 m <sup>2</sup>				
世帯人数	4	確定			

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 2.6</b> ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>  <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆☆ ~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆☆☆ ~100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	 <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b> Q1のスコア= 3.9</p>  <p>暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ</p> <p><b>Q2 長く使い続ける</b> Q2のスコア= 4.1</p>  <p>長寿命に対する基本性能 維持管理 機能性</p> <p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b> Q3のスコア= 3.2</p>  <p>まちなみ・景観 生物環境の保全と創出 地域の安全・安心 地域の資源の活用と住文化の継承</p>		
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b> LR1のスコア= 4.6</p>  <p>総合的な省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫</p> <p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b> LR2のスコア= 3.0</p>  <p>省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減 リサイクルの促進</p> <p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b> LR3のスコア= 4.1</p>  <p>地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮</p>		

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>シンプルで無駄のないことをコンセプトに計画</p>	<p><b>その他</b></p> <p>横浜市ZEH普及促進補助事業</p>	
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b></p> <p>人体に有害なものは使用しない。</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b></p> <p>動線と間取り、段差を考慮した計画</p>	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b></p> <p>シンプルな外観を考慮</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b></p> <p>水回りをまとめ、経路の無駄を省く。</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b></p> <p>オープンキッチンで、清潔なキッチンを計画。</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b></p> <p>太陽光発電、エコキュートの利用。</p>



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

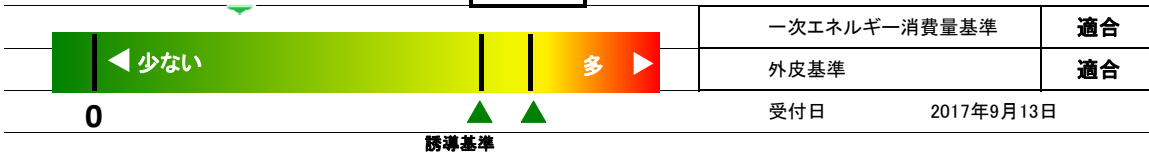
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 67 %削減



##### ■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①太陽光発電を行い国ZEH基準をクリア
- ②省エネ家電を計画
- ③省エネに関する住まい方について一般的な説明が住まい手にされている。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

##### ■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

##### ■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策における等級3を満たしている。

##### ■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **4**

##### ■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑧日本住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級」における等級3を満たす
- ⑨回遊可能な配置の計画

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

##### ■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

⑩外観をシンプルで落ち着いた色合いで計画

##### 太陽光発電などの導入



太陽光利用

##### エネルギーマネジメントシステム導入

##### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄熱設備